

海外安全対策情報（平成29年度第4四半期：コロンビア）

1 社会・治安情勢

（1）政府とE L N（国民解放軍）の和平交渉をめぐる動向

- ア 1月9日、エクアドルのキトでコロンビア政府とE L Nの第5回和平交渉が開催予定であったが、同交渉は中止され停戦期限を迎えた。期限を迎えた10日未明、カサナレ県等でE L Nによるものとみられる石油パイプライン施設等に対する攻撃が発生した。これを受け、サントス大統領はキトに滞在中の政府側和平交渉団長に帰国を指示したほか、29日、E L Nの言動に一貫性が持たれるまで第5回和平交渉開始を無期延期する旨発表した。
- イ 1月27日・28日、アトランティコ県バランキージャ市南部のサン・ホセ警察署内において、仕掛けられた爆弾が爆発したほか、近隣都市およびボリーバル県南部の警察施設に対する爆弾攻撃が発生し、警察官6名が死亡した。28日、E L Nはバランキージャ市内の警察署での事件について犯行を認める声明を出した。
- ウ E L Nは、2月10～13日までの間、エクアドル・キトでの第5回和平交渉の再開に対する政府の拒否等を受けて、全国規模の武装ストライキを実施する旨発表した。あるシンクタンクのレポートによると、同期間中E L Nによるとみられる事件が16件発生したほか、3件のE L Nと治安機関との戦闘が発生するなどし、ゲリラ兵4人、警察官1人及び国軍兵士1人が死亡した。場所は、アラウカ県、セサル県、アンティオキア県、ノルテ・デ・サントアンデール県、カウカ県及びナリーニョ県で発生した。
- エ E L Nは、3月11日に実施される国会議員選挙を前に、有権者への尊重の証として、3月9日～13日に一方的一時停戦を実施する旨発表した。12日、E L Nが宣言していた国会議員選挙前後の一方的一時停戦の達成を受け、サントス大統領は13日からE L Nとの和平交渉をエクアドルのキトで再開すると発表した。

（2）米国大使館員を狙ったテロ計画

3月14日、在コロンビア米国大使館職員を狙ったテロ攻撃を企図したとしてキューバ人が逮捕された。報道によると、同容疑者は、ボゴタ市北部のソナ・ロサ地区において、米国大使館員が頻繁に訪れるレストランでの皿洗いの仕事に申し込んだほか、ソーシャルネットワークを通じ、イスラム過激派とみられる人物と連絡を取っており、手製爆弾を製造しようとしていたとされる。また、ボゴタ市でのテロを実行後、アルゼンチンでもテロを実行しようとしていた等と報道されている。

2 一般犯罪の傾向

(1) 犯罪別発生件数

第4四半期（1月～3月）のコロンビア全国における罪種別犯罪発生件数は以下のとおり（出典：コロンビア国防省統計）。

・殺人	3, 156件
・強窃盗（対人被害）	54, 122件
・強窃盗（邸宅，商業施設被害）	22, 893件
・強窃盗（乗物被害）	9, 019件
・性犯罪	4, 721件

(2) 邦人の犯罪被害事案

- 1月1日，ボゴタ市内北部の日本料理店前において，被害邦人が食事している間，路上駐車していた同邦人所有の車両からドアミラーが工具によって取り外され窃取された。
- 1月2日，アトランティコ県シエナガ市において，ヒッチハイクで旅行中の短期渡航者が，小銭を要求してきた少年3人にナイフで左腕を刺され負傷した。犯人等は何も盗らずにその場から逃走した。
- 1月25日，短期渡航者が，ボゴタ市内モンセラッテの丘へのゴンドラ乗り場を探していた際，女性から声を掛けられ振り向いたところ，12～13歳くらいの少年に刃物で突然ショルダーバックの紐を切断され，バックが路上に落ちたところを窃取された。被害者にけがはなかった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 発生件数（1月～3月）（出典：コロンビア国防省統計）

48件

(2) 発生事案

報道等によると，国内において，以下のテロ・爆弾事案が発生した。

- 1月10日，カサナレ県，アラウカ県及びボヤカ県において，石油パイプラインや警察施設に対するE L Nによる攻撃が3件発生した。
- 1月11日，アラウカ県及びボヤカ県において，石油パイプラインや警察施設，軍兵士に対する攻撃が相次ぎ発生し，兵士1名が死亡した。
- 1月12日，アラウカ県及びノルテ・デ・サントンドール県において，治安機関を狙ったE L Nによる攻撃が複数発生した。
- 1月12日，メタ県において，警察官に対し手榴弾が投げつけられ，警察間2人が負傷した。F A R C 離反兵によるとみられている。
- 1月27日・28日，アトランティコ県バランキージャ市南部のサン・ホセ警察署内において，E L Nによって仕掛けられた爆弾が爆発したほか，近隣都市およびボリーバル県南部の警察施設に対する爆弾攻撃が発生し，警察官6名が死亡した。
- 2月5日，グアビアレ県において，F A R C 離反兵により送電塔が爆破され，

同県内の広範囲に渡って停電が発生した。

- 2月6日、ボリーバル県南部において、E L Nによる警察施設に対する爆弾事件が発生したが、負傷者はなかった。
- 2月10～13日までの間、E L Nが実施した武装ストライキにより、E L Nによるとみられるテロ等事件が16件発生した。
- 2月19日、カケタ県サン・ビセンテ・デ・カグアン市において、検問に従事中の警察官に対する銃撃が発生、警察官2名が死亡した。
- 2月27日、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区において、移動中の軍車列に仕掛けられた爆弾が爆発し、兵士1名が死亡した。
- 3月10日、ナリーニョ県トゥキエレス市において、移動中の公共バスが何者かによって放火された。
- 3月13日、ナリーニョ県トゥマコ市において、市役所を警戒中の兵士を狙ったとみられる爆弾事件が発生し、兵士2名が負傷した。
- 3月15日、グアビアレ県サン・ホセ・デ・グアビアレ県において、警戒中の海軍大隊に対する攻撃により、兵士1名が死亡、3名が負傷した。F A R C離反兵によるものとみられている。
- 3月18日、アンティオキア県バホ・カウカ地区カウカシア市において、公共施設等に対する攻撃が発生、市民2名が死亡、3名が負傷した。

4 誘拐・恐喝事件発生状況

(1) 発生件数（1月～3月）（出典：コロンビア国防省統計）

ア 誘拐	29件
イ 恐喝	1,031件

(2) 発生事案

主な誘拐事案は以下のとおり。武装集団による誘拐事件は、ノルテ・デ・サントアンデール県カタトゥンボ地区やチョコ県で多く発生している。

- 2月16日、ノルテ・デ・サントアンデール県ティブ市において同県人権擁護局職員が何者かに誘拐されたが、20日、同市内で解放された。E L Nによる犯行とみられている。

5 日本企業の安全に関する諸問題

政府の継続した治安対策により、ボゴタ市を始めとする都市部では、テロ、殺人及び誘拐の発生は減少し、都市部での治安状況は過去最悪とされる2000年前後に比べ著しく改善された。しかし、2017年もボゴタ市内で爆弾テロが複数件発生、特に同年6月17日発生の「セントロ・アンディーノ」における爆弾事件は一般市民が巻き込まれており、警戒を怠ることはできない状況。

また、未だ山間部やジャングル地帯を中心に治安機関及び石油・電力施設を狙ったテロが頻発している。これら地域は、国軍・警察の影響力が低いため、

人的・物的被害が絶えない。また、ベネズエラやパナマとの国境付近、太平洋岸はゲリラ組織や犯罪組織が活発に活動し、これら勢力争いに伴う銃撃戦も発生している。

F A R Cは武装解除し、新党が設立され合法政党となったが、一部和平方針に従わない離反兵の活動も認められているほか、元兵士の社会復帰の成否如何によっては治安へ悪影響も懸念される。

E L Nは政府と正式な和平交渉を行っているものの、今後の和平交渉の進展次第では、テロ・誘拐を敢行する可能性は否定できない。

従って、特に地方への訪問については、その可否を決定する上でも、外務省、大使館、現地治安当局より最新の治安情報を入手するよう努めていただきたい。